

平成30年度 第9回臨床腫瘍セミナー

がんゲノム医療の実装に向けて 遺伝子パネル検査と今後の展開

現在、日本では、次世代シーケンサーを用いた遺伝子パネル検査の保険診療という形で、がんゲノム医療が一步進もうとしている。今後、得られるゲノム・診療情報を集積することで、精密がんゲノム医療の質的向上を図るとともに、薬剤開発に利活用していくことは、本邦のがんゲノム医療の発展につながるだろう。

国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野 分野長
先端医療開発センター ゲノムTR分野 分野長

講師 **河野 隆志 先生**
(この たかし)

- 1989年 京都大学薬学部卒業。
- 1995年 東京大学大学院医学研究科(細菌学講座)卒業。
医学博士。
同年より、国立がんセンター研究所研究員。
- 2010年 ゲノム生物学研究分野分野長に就任。
- 2012年 先端医療開発センター・ゲノムTR分野分野長 併任。
肺がんにおけるRET融合遺伝子の発見と
橋渡し研究、NCCオンコパネル検査の開発などを行
っている。日本癌学会評議員。
- 2018年 JCA-CHAAO章受賞。



日時：2019年1月15日(火)18時～19時
場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

司会：河野浩二 先生 (消化管外科学講座)

参加無料 / 事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 2019年2月26日(火) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室
(講師)川崎医科大学病理学 教授 森谷 卓也(もりや たくや)先生